

2021 年度地域産業労働会議における意見及び取組状況

分野	意見及び取組状況
産業関連	○ 新型コロナウイルス感染症(以下:コロナ)の影響を受け、飲食・小売・旅行業は厳しく、廃業の選択肢をとっているところもあるが、一方では、巣ごもり需要の恩恵を受けて最高益を計上する事業者もあり、二極化している。【尾張】
	○ コロナ禍における事業継続の取組として、理髪店ではオートシャンプーの導入、美容や食品関係では新商品開発・販売のためのECサイトの開設、建築業ではチャットボット機能付きのHPの構築、飲食業では新規のテイクアウト事業の実施など、多種・多様な取組が進められている。【尾張】
	○ 巣ごもりの影響で高級金魚の需要が増えた一方、3年連続で市の祭りを中止する事になり、金魚すくいの機会がなくなり、地場産業が大きな影響を受けている。そこで、昨年度は、金魚と水槽を無料で配布し、貰っていただいた方にSNSで動画や写真を拡散していただく取組を実施したところ、なかなかの反響であった。今年度は、観光PRも兼ねて、県内外でイベントの開催し、金魚すくいを発信した。【海部】
	○ コロナの影響を受ける事業者に対する支援として、会議所でキッチンカーを募集し、会議所や競艇場の駐車場を使用して飲食の販売を実施したところ、大変盛況であった。本取組を足掛かりとして、会議所の会員数の増加につなげることができた。【知多】
	○ アフターコロナを見据え、国の補助金を活用してネット販売を始めた商店で、販売している商品がテレビで取り上げられ、大量注文が来たという例があった。【新城】
	○ 中小企業は、コロナ対応のみならず、原油高や原材料価格高騰、納期の不透明さ、取引先の廃業、最低賃金価格改定に伴う人件費の押し上げ等により、大変な状況におかれている。【海部】
	○ 県には、別のウイルスの流行や大規模災害等が発生した際のリスクに備える意識を向上させるための啓蒙活動、事業継続計画(BCP)や事業継続力強化計画の策定に対する助成等をお願いしたい。【尾張】
	○ 各種給付金などの支援施策が終了すれば、高齢化の問題も含め、廃業する企業が増えるのではないかと懸念している。【知多】
	○ 国や県の給付金が事業継続を支えているのは間違いないが、言い方を変えれば、フェードアウトしていくべき事業者が残り、新陳代謝ができていないと感じている。【知多】
観光・交流関連	○ 昨年10月末に東京と大阪を結ぶ高速バスの、当地域における唯一バス停が道の駅にできた。それを契機として、観光拠点とすべく国の再生高付加価値化推進事業の認定を受けて、高速バスと市内の観光地を結ぶ周遊バスや貸切ツアーの実証実験を実施している。【新城】
	○ 新城ラリーやトレイルレースなどのスポーツツーリズムや湯谷温泉の宿泊滞在時間を伸ばすためのウェルネスツーリズムを推進していく。【新城】
	○ 観光交流の発信拠点として、道の駅を設置したことで、意識が徐々に変わってきている。過日開いた山城展も、文化財としてだけでなく、地域に足を広げてもらうという観光視点も加味した。こうした取組を点でなく線となるようにしていきたい。【新城】

分野	意見及び取組状況
労働関連	○ 新設した道の駅には観光パンフなどが置いてあり、かなり捌けるのだが、一方でゴミもたくさん出てしまう。今は非接触という流れにもなっているので、観光情報のデジタル化を進めていきたい。【新城】
	○ オンラインでは言葉の情報は分かるが、言葉では分からない情報もある。声の微妙な抑揚、身振り手振り、雰囲気等を専門用語で暗黙知という。特に製造業等、技を使うところはこの暗黙知が多いが、オンラインだとこの暗黙知が伝わらない状況があり、対応に苦慮している。【尾張】
	○ ハローワークにおいて、オンライン職業相談の仕組みはあるが、当地域においては利用者がいない。対面での面接を望む企業が多く、オンライン面接は馴染んでいない。【東三河】
	○ Webで集まるというのは、人と人とのつながりが薄くなるのではないかと感じている。コロナ禍でハラスメントの問題や人間関係の問題が増えてメンタルヘルスに影響が出ている人が多くなっている。【尾張】
	○ 県においては、先に進んでいる大企業のテレワークにおけるマイナスな部分を分析して、メンタルヘルス部分についても施策に反映してほしい。【尾張】
	○ テレワークの推進として、先進的事業所の例を紹介することが必要と思う。【東三河】
	○ 会議所内に市の支援を受け、コワーキングスペースを設けており、新規創業以外にもコロナ禍における在宅勤務場所として利用されている。【東三河】
	○ コロナ禍で言われている働き方改革の一環である副業、兼業については、昨年度からやりたいという話は聞かすが労務時間管理がかなり難しい。仕組みや社会的状況を踏まえると、諸手を挙げて賛成とはいえない状況である。【尾張】
	○ 外国人が働く国を選定する場合に、必ずしも日本だけが選択肢ではなくなってきている。日本で働くことがどれだけの魅力があるのかということ海外に発信できるかがこれからの課題。【西三河】
	○ 日本人に人気のない職種は外国人にも人気がなく、日本人が選ばない業種は外国人も選ばないという時代がもう目の前にきている。【西三河】
	○ 山村地域であり、企業倒産や廃業といった声はほとんど聞かれず、むしろ後継者不足による事業承継や従業員の欠員補充の問題、少子高齢化・人口流出といった当地域独特の課題、建設・介護といった人手不足分野への充足対策、求職者の高齢化による高齢者対策が喫緊の課題となっている。【新城】
	○ 飲食店は、休業や営業時間短縮の影響で客数及び売上が減少し、従業員、パート・アルバイトの継続雇用が困難な状況。やむなく、人員整理を行う企業もある。小規模事業者にとって、一度離れた従業員を再び確保するのは困難。長い時間と資金が必要になる。【海部】

※かっこ書きは、開催地域名

地域産業労働会議…経済労働ビジョンの推進及び県内地域ごとの現状や課題について意見交換を行うことを目的として、県内6地域(東三河、新城、尾張、海部、知多、西三河)の県民事務所等において開催